

Ⅲ. 単純集計結果のまとめ

1. 団体の概要

(1) 法人格

「任意団体」(84.2%)、「特定非営利活動法人」(14.0%)、「その他の法人」(1.4%)となっている。

「その他の法人」とは、社会福祉法人、公益財団法人及び宗教法人等で、ボランティア活動を行っている団体である。

(2) 発足年

団体の発足年は、震災(1995年)以降が約7割(73.0%)を占めており、内訳は「1995年～1999年」(11.5%)、「2000年～2004年」(16.1%)、「2005年～2009年」(17.9%)、「2010年以降」(27.5%)となっている。震災以前では、「1989年以前」が13.7%、「1990年～1994年」はやや少なく6.5%となっている。

(3) 会員の有無

「貴グループ・団体の活動者が会員」(69.8%)、「活動者と、活動の対象やサービスや支援を受ける方の双方が会員」(13.1%)、「会員制はとっていない」(13.0%)となっている。

(4) 会費の有無

「会費を集めている」(60.2%)、「会費は集めていない」(36.0%)となっている。

2. 団体の活動内容

(1) ボランティア活動の比重

「ボランティア活動が主目的」(75.4%)、「ボランティア活動は主目的ではないが、活動の一環としてボランティア活動を実施」(20.5%)を合わせて「ボランティア活動を目的としたグループ・団体」は2,478団体、全体の95.9%である。以下の分析はこの2,478団体を対象として行う。

(2) ボランティア活動の分野

「福祉の増進」が6割(63.9%)を占める。また、1番中心となる分野も「福祉の増進」が最も多く、4割(42.4%)を占める。

(3) 活動方法

活動方法としては、「親睦・交流などの場を提供する」(52.5%)が約5割、次いで「サービスを提供したり、人材を派遣する」(31.0%)が約3割となっている。

(4) 活動の活発化

「とても活発」(35.2%)と「どちらかというと活発」(49.7%)を合わせると、活発な活動をしている団体が8割以上となっている。

(5) 活動回数の増減

活動の回数は年数を経るにつれ、増えた団体及び減った団体が多くなっており、変わらない団体が少なくなっている。また、3年、5年前との比較では、減った団体が増えた団体よ

りも割合が高い。

(6) 活動種類の増減

活動の種類は年数を経るにつれ、増えた団体及び減った団体が多くなっており、変わらない団体が少なくなっている。また、3年、5年前との比較では、減った団体が増えた団体よりも割合が高い。

(7) 主な活動地域

主な活動地域は、発足時には「一つの市町内(神戸市では区内)」(36.4%)が多く、現在も「一つの市町内(神戸市では区内)」(35.0%)が多くなっているが、「複数の市区町内(郡域など)」、「県内全域」及び「県域を越えた広域(海外を含む)」の合計が23.3%から31.1%に増加している。

3. 団体の活動者

(1) 活動者数

活動者数は、「1-20人」が7割(70.7%)を占める。

(2) 運営を担う人数

運営を担う人数は、「1-20人」が9割(92.7%)を占める。

(3) 活動者数の増減

活動者数は年数を経るにつれ、増えた団体及び減った団体が多くなっており、変わらない団体が少なくなっている。また、減った団体が増えた団体よりも割合が高い。

(4) 活動の中心【性別】

団体の中心が「ほとんどが女性」が約6割(58.9%)となっており、「ほとんどが男性」(7.9%)、「やや男性が多い」(6.9%)、「男女ほぼ同じくらい」(9.8%)は1割に満たない。

(5) 活動の中心【年齢別】

活動の中心は、「75歳以上」(12.8%)、「65歳以上、74歳以下」(53.8%)で、両者を合わせると65歳以上が6割以上を占める。

(6) 活動のきっかけ

活動のきっかけは「前からいる活動者の紹介」(61.6%)が最も多い。

4. 団体の活動状況

(1) 1年間の活動回数

1年間の活動回数は、「12回以上、23回以下」(35.6%)が最も多く、次いで「37回以上」(32.8%)が多い。

(2) 1回あたりの活動者数

1回あたりの活動者数は9人以下が6割以上(63.9%)、19人以下を含めると約9割(87.3%)になる。

(3) 主な活動場所

主な活動場所は「公民館や福祉センターなどの公共施設」(53.9%)が最も多い。

(4) 利用者数

利用者が40人以下の団体が半数以上(64.2%)を占める。一方、利用者が多い団体(「100人以上」)も約1割(12.1%)となっている。

(5) 利用者数の増減

利用者数は年数を経るにつれ、増えた団体及び減った団体が多くなっており、変わらない団体が少なくなっている。また、1年、3年前との比較では増えた団体が減った団体よりも割合が低い。

(6) 利用のきっかけ

利用するきっかけは、「前からいる利用者や活動者の紹介」(53.3%)が最も多い。

5. 団体の財政状況

(1) 支出総額

平成30年度の支出総額は、「10万円未満」が半数(50.0%)を占め、「10万円以上100万円未満」(35.6%)、「100万円以上」(10.9%)となっている。中でも「2,000万円以上」は3.2%となっている。

(2) 支出総額の増減

支出総額は年数を経るにつれ、増えた団体及び減った団体が多くなっており、変わらない団体が少なくなっている。また、比較年数に関係なく、増えた団体が減った団体よりも割合が高い。

(3) 収入内訳

「会費・入会金」を収入としている団体は6割以上(62.2%)となっているが、そのうち概ね「会費・入会金」で運営している団体は全体の16.9%である。同様に、概ねその収入で運営しているものをみると、「事業収入(受託事業)」(20.2%)、「事業収入(自主事業)」(17.7%)、「ひょうごボランティアプラザからの助成金」(5.0%)、「行政、社会福祉協議会からの助成金」(7.0%)、「民間団体からの助成金」(7.0%)、「寄附金」(5.9%)となっている。

(4) 事業収入及び寄附金の増減

5年前と比べて、「事業収入(受託事業)」は、増えている団体が多いが、「事業収入(自主事業)」と「寄附金」は、減っている団体が多い。

(5) 活動者に対する経費・謝金の支給

活動者に対する経費・謝金の支給については、「交通費など必要経費は支給する」(38.6%)が多く、次いで「活動者が原則として自己負担する」(36.5%)となっている。

(6) 使用している事務書類等

団体で使用している事務書類等では、約8割が「活動者や利用者の名簿」(84.9%)と「決算報告書、収支報告書」(75.9%)を、約5割が「明文化された規約・会則」(57.7%)と「事

業計画書」(50.5%)を使用している。これらに比べると、「SNSやブログ」(10.0%)、「相談できる税理士もしくは司法書士」(6.5%)は、少なくなっている。

6. 団体の取り組み状況

(1) 向上のための取り組み

団体の活動や運営能力の向上のための取り組みについては、「現在取り組んでいる」(17.5%)、「セミナー、研修会などの機会があれば是非学びたい」(18.2%)、「余裕があれば学びたい」(20.6%)、「特に検討する考えはない」(31.8%)となっている。

(2) 学びたいスキル

学びたいスキルは、「情報発信」(30.7%)が最も多く、次いで「資金調達の方法」(15.3%)となっている。

(3) 日頃の雰囲気

日頃の雰囲気は、約7割が「会議は普段、和気あいあいとした様子で進行している」(67.4%)、また半数以上が「一人ではなく複数人で団体の運営に当たることが多い」(52.1%)、「活動の方針は常にみんなで議論して決めている」(56.0%)、「活動に関する情報はみんなで十分に共有されている」(59.1%)となっている。

7. 今後の取り組み等

(1) 活動における問題点・課題

活動における問題点、課題としては「活動者の数が足りない」(45.4%)が最も多く、次いで「世代交代が遅れている」(42.6%)、「活動者の能力向上が必要である」(22.3%)、「活動に必要な資金が不足している」(20.5%)、「活動がマンネリ化している」(19.4%)となっている。

(2) 活動の方向性

今後の活動については、「現状を維持する」(68.0%)が最も多く、次いで「拡大、充実する」(22.2%)、「縮小する」(5.6%)で、「やめる」(1.6%)は僅かであった。

(3) 拡大・充実の方法

今後の活動を「拡大、充実する」と回答した551団体のその方法は、「活動内容の質を高めたり、提供方法を改善」(67.7%)が最も多く、次いで「新たな活動者の確保」(54.8%)、「活動回数を増やしたり、活動を拡大」(45.0%)となっている。

(4) 縮小・やめる理由

今後の活動を「縮小する」または「やめる」と回答した178団体のその理由は、「後継者がいない・世代交代が難しい」(70.2%)が最も多く、次いで「活動する人の数が少なくなってきた」(58.4%)となっている。

8. 他団体や行政等との協働

(1) 他の団体等との連携・協働

「他団体と連携・協働している」団体は、5割以上(55.9%)となっている。

(2) 連携・協働して活動している団体

他団体と連携・協働していると回答した 1,384 団体の連携先は、「地域を基盤とする団体」(65.8%) が最も多く、次いで「地域を基盤とする団体以外のボランティア団体」(49.1%) となっている。

その具体的な相手先として、「地域を基盤とする団体」の中では、「自治会」(53.9%)、「まちづくり協議会」(39.2%) が多く、「地域を基盤とする団体以外のボランティア活動団体」では、「法人格のないボランティア活動団体」(57.9%)、「事業所等」では「福祉施設」(66.3%)、「学校等」では「小学校」(62.3%) が、それぞれ多くなっている。

また、連携・協働先の数は、1 箇所 (17.0%)、2 箇所 (16.7%)、3 箇所 (13.8%) 及び 4 箇所 (11.4%) となっている。

(3) 地域を基盤とする団体との連携・協働の内容

地域を基盤とする団体と協働している 911 団体の活動内容は、「イベントや行事等の共催」(57.6%) が最も多く、次いで、「情報交換や交流会を開催」(44.8%)、「お互いの活動の支援やスタッフの受け入れ」(23.8%)、「連絡会、協議会を設置」(18.6%) などと続いている。

(4) 地域を基盤とする団体との連携・協働の効果

地域を基盤とする団体と協働している 911 団体の連携・協働の効果は、「行事や事業の内容が充実した」(51.2%) が半数以上と多く、次いで「他のグループ・団体との交流がさらに広がり、活動の場が広がった」(36.9%)、「ボランティア活動の社会的認知が高まった」(31.9%) などと続いている。

(5) 他のボランティア活動団体との連携・協働の内容

地域を基盤とする団体以外のボランティア団体と協働している 679 団体の活動内容は、「イベントや行事等の共催」(54.2%)、「情報交換や交流会を開催」(53.8%) が半数以上と多く、次いで「お互いの活動の支援やスタッフの受け入れ」(25.9%)、「連絡会、協議会を設置」(21.6%) などと続いている。

(6) 他のボランティア活動団体との連携・協働の効果

地域を基盤とする団体以外のボランティア団体と協働している 679 団体の連携・協働の効果は、「行事や事業の内容が充実した」(51.5%) が半数以上と多く、次いで「他のグループ・団体との交流がさらに広がり、活動の場が広がった」(48.3%)、「ボランティア活動の社会的認知が高まった」(27.7%) などと続いている。

(7) 事業所等との連携・協働の内容

事業所等と連携・協働していると回答した 519 団体の活動内容は、「イベントや行事等の共催」(42.6%) が最も多く、次いで「情報交換や交流会を開催」(34.3%)、「活動場所の提供」(24.3%) などと続いている。

(8) 事業所等との連携・協働の効果

事業所等と連携・協働していると回答した 519 団体の連携・協働の効果は、「行事や事業の内容が充実した」(48.0%) が最も多く、次いで「ボランティア活動の社会的認知が高まった」(32.0%)、「他のグループ・団体との交流がさらに広がり、活動の場が広がった」(28.9%) となっている。

(9) 連携、協働を最も強化したい団体等

今後、連携・協働を最も強化したい団体は、「自治会、婦人会等地域を基盤とする団体」が約4割（39.7%）、次いで「学校等」（10.2%）、「地域を基盤とする団体以外のボランティア団体やNPO法人」（5.9%）となっているが、「特に必要と思わない」（23.7%）も多くなっている。

（10）連携・協働するために一番必要なこと

他の団体と連携・協働して事業を進めるために最も必要なことは、「他の組織と出会う機会があること」が（38.3%）と最も多く、次いで「他の組織の情報が入手できること」（32.9%）となっている。

（11）行政・社会福祉協議会とのつながり

行政・社会福祉協議会とのつながりは、「日常的なつながりがある」が約5割（48.8%）、「呼びかけがあれば協力する程度の関係である」（37.0%）、「ほとんどつながりはない」（10.7%）となっている。

（12）行政・社会福祉協議会とのつながりの内容

行政・社会福祉協議会とつながりがあると回答した1,210団体のそのつながりの内容は、「助成金、補助金を受けている」（68.1%）が最も多く、次いで「情報やアドバイスを受けている」（48.3%）、「活動の場の提供を受けている」（39.6%）などと続いている。

（13）行政・社会福祉協議会への要望

行政・社会福祉協議会に望むこととしては、「各種申請や事業を実施するまでの手続きを簡素化してほしい」（30.7%）が最も多く、次いで「書類作成など団体側の事務的負担を少なくしてほしい」（25.7%）、「助成金、人材、他団体の事業などの情報を提供してほしい」（24.9%）などと続いている。

9. 災害時の救援・復興支援活動

（1）団体としての救援・復興支援活動

活動を行った団体は、25.7%で、災害別では、「平成23年東日本大震災」（17.2%）が最も多く、次いで、「平成28年熊本地震」（8.4%）、「平成30年7月豪雨（西日本被災）」（7.6%）となっている。

（2）支援活動の内容

活動内容は、「義援金の寄附、募金活動」（72.4%）が最も多く、次いで「現地に赴いての支援・復旧・復興活動」（25.4%）、「救援物資の提供」（24.5%）となっている。

（3）支援活動時に協力・連携した団体

支援活動時に協力・連携した団体は、「行政・社会福祉協議会」（49.4%）が最も多く、次いで「被災地を拠点とするボランティア団体」（16.6%）、「被災地の自治会等、地域を基盤とする団体」（13.9%）となっている。

（4）行いたい支援活動

今後、行いたい支援活動の内容は、「義援金の寄附、募金活動」（56.3%）が最も多く、次いで「救援物資の提供」（31.0%）、「支援の呼びかけや、関連情報の発信・共有」（28.7%）となっている。

(5) 支援活動の実施・継続にあたっての課題

支援活動の実施・継続にあたっての課題は、「活動スタッフの確保が困難」(41.6%)が最も多く、次いで「活動費が不十分」(30.0%)、「被災者の具体的ニーズや支援場所の情報入手が困難」(26.7%)、「どこまで継続的に支援するか判断が困難」(26.6%)となっている。

10. 兵庫県のボランティア活動

(1) 県内におけるボランティア活動の25年の振り返り

ボランティア活動に対する一般的な認知、理解は高まったかについて、「そう思う」(47.8%)、「ややそう思う」(28.5%)となっており、7割以上が高まったと評価している。

ボランティア活動が、社会の中で、一定の役割を果たすようになったかについて、「そう思う」(41.1%)、「ややそう思う」(34.9%)となっており、7割以上が果たすようになったと評価している。

ボランティア活動を行う団体同士のネットワークが広がったかについて、「そう思う」(14.0%)、「ややそう思う」(31.0%)となっており、4割以上が広がったと評価している。

ボランティア活動に対する社会制度や支援制度が充実したかについて、「そう思う」(14.5%)、「ややそう思う」(37.8%)となっており、5割以上が充実したと評価している。

ボランティア活動に対する学校教育での取り組みが活発になったかについて、「そう思う」(12.9%)、「ややそう思う」(33.3%)となっており、4割以上が活発になったと評価している。

ボランティア活動に対する企業の社会貢献活動が活発になったかについて、「そう思う」(12.7%)、「ややそう思う」(33.4%)となっており、4割以上が活発になったと評価している。

ボランティア活動を通じて「参画と協働」が進んだかについて、「そう思う」(12.9%)、「ややそう思う」(36.0%)となっており、約5割が進んだと評価している。

(2) 25年間の行政の政策

25年間の行政の政策で活動に影響を及ぼしたのは「助成金」が4割を超えて(41.4%)最も多く、次いで「情報提供・相談」、「活動場所の提供」(ともに18.6%)となっている。

(3) ひょうごボランティアプラザの利用

ひょうごボランティアプラザは、60.3%が利用しており、その内容は、「活動資金の支援」(52.7%)が多く、次いで「活動場所の提供」(8.1%)、「交流会・ネットワークづくりの支援」(7.2%)となっている。

(4) ひょうごボランティアプラザへの支援強化要望

今後さらに強化してほしいことは、「活動資金の支援」(54.1%)が多く、次いで「交流会・ネットワークづくりの支援」(17.9%)、「人材の育成支援」、「研修機会の提供」(ともに16.4%)となっている。

11. 団体の代表者

(1) 代表者の性別

団体の代表者は、「男性」が35.5%、「女性」が63.5%となっている。

(2) 代表者の年齢

代表者の7割以上が65歳以上となっており、49歳以下は1割に満たない(5.4%)。

(3) 代表就任期間

代表就任期間は「1年未満」(12.7%)、「1年以上、3年未満」(20.8%)、「3年以上、5年未満」(13.0%)、「5年以上、10年未満」(22.2%)、「10年以上」(30.1%)となっている。

(4) 代表者の代数

代表者の代数は、「1代目」(42.5%)が最も多く、次いで「2代目」(18.0%)、「3代目」(10.0%)となっている。

(5) 代表者の職業

代表者の職業は、「定年退職者・年金生活者」(38.4%)が最も多く、次いで「家事従事者」(28.5%)となっている。